

大学なども連携 530人がごみ収集

横浜を美しく暮らしやすい街にしようと、神奈川県新聞社など横浜地域の企業・団体で構成するNPO法人「美

しい港町横浜をつくる会」(鈴木一男会長)は14日、横浜市内で清掃活動を行った。写真。

15回目となる「斉清掃」は、同会のメンバーに加え、馬車道商店街協同組合や神奈川大学など4団体と連携し、約530人が参加した。



午前9時にJR桜木町駅前をトングやごみ袋を手に出発。西区エリアと中区エ

リアの計19コースに分かれ、道端に捨てられたはこの吸い殻やペットボトルなどを拾い集めた。約1時間半で2トトラック2台分のごみを収集した。

神奈川大学学生ボランティア活動支援室から参加した3年生の小倉勝十さん(20)は「前回に比べてごみが少なくなっていた。この活動を見たり参加したりすることで、ごみ問題の意識が高まっているのではないかと話していた。

同会は趣旨に賛同する新規企業会員を募集している。問い合わせは、同会事務局 ☎045(341)3144。